

交流会・自己紹介タイム

～感想・自分たちができること・もっと知りたいこと～
今、私たちができること・思うこと

10名の歯科医師、4名の歯科衛生士の方に各グループに入っていました。



感想

- ◆高齢者の口腔内については無関心だった。
- ◆歯科の訪問診療があることを知らなかった。

今、わたしたちができること 思うこと

- ◆誤嚥性肺炎は口腔ケアで減少する。
- ◆介護保険申請時にかかりつけ歯科医をもつことを伝えるなどが必要ではないか。
- ◆口のアセスメントが必要。また周囲の方（家族等）のサポートも必要。
- ◆歯茎ケアの大切さ。歯ブラシの種類を知り工夫も必要。
- ◆歯科受診は最後になってしまう。高齢になると受診の必要性を感じていないこともある。口腔の状態が全身状態に影響すること、受診の必要性に対する啓発が必要
- ◆加齢に伴う体調の変化で治療が大変になってくる場合もあるので、歯の治療は後回しにせず早めにするように伝えたい。
- ◆歯科にも送迎があればよいのでは。
- ◆歯科治療も大事だが口腔ケアはとても大事。
- ◆歯に関する意識が低いため、予防という意識が低いのでは。
- ◆歯の欠損がある場合、義歯を作成するより、食事形態を変更されるケースもある。しかし、咬み応えのあるものをいつまでも自分で咬めるような口腔の状態を作りたいと思う。
- ◆あらゆる方面や職種から声掛けを行うと良いのでは。歯科受診、口腔に関心を高めてもらえると良い。



具体的にどう動いていけばいいのか
事例を出し合い考えていきましょう

「**歯の大切さ**」「**早期の対応**」を啓発していこう！」

「**支援チームを組んで口腔ケアを**していこう！」

『その人の名前と声を聞いたら顔が思い浮かぶ・・・』そんな顔の見える関係がすいぶん広がってきているように思います。今回は多くの歯科医師・歯科衛生士さんともお会いできました。様々な分野の人がここに集まり、想いを伝えあい、新たな気づきやつながりのひとつひとつが、在宅医療福祉推進において「これから何をしていけばいいのか」行動をおこすきっかけとなって、この先もずっとつながっていくことを願います。

27年度の研究会は、テーマごとに事例を出しながら多職種連携について考えていきます！

ご参加ください！ ことう地域チームケア研究会

お知らせメールの登録をお願いします

ことう地域チームケア研究会では、研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、①お名前 ②ご所属 ③ひとこと をいれて事務局までメール送信してください
★事務局 (mail) info@gen-ai-ken-kaigo.jp

次回は・・・平成28年3月10日(木) 18:30～20:30

テーマ：『ケアマネジャーの役割とは』

会場：くすのきセンター1階研修室

担当団体：彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会

*申し込みは不要です。当日会場へお越しください

*問い合わせ先：ことう地域チームケア研究会事務局

彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)

彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)

「歯科治療・口腔ケアの現状

- ◇口腔ケアの必要性を伝えるが、なかなか続かない
- ◇高齢者の方はなかなか口腔内をみせてくれない。
- ◇認知症の方への対応は人それぞれ。時間をかけて口を開けてもらうようにしたり、車いすの方の場合、診察台には移動せずに車いすのまま診察したりすることもある。
- ◇認知症の方の場合、症状がしっかり把握できない。
- ◇在宅のケアのなかで歯・口腔に関しては後回しになってしまっていることが多い。
- ◇施設歯科訪問は一か月に1回。日々のケアは施設の看護師等がフォロー。
- ◇訪問介護をしていてもなかなか口腔ケアまで手が届いていない現状がある。
- ◇歯科衛生士の数が少ない
- ◇歯科衛生士だけが訪問することはできない。
まず歯科医が訪問診療しその指示で衛生士が訪問。
- ◇実際の訪問診療で多い治療は入れ歯の作製・調整。



かかりつけ歯科医をもとう！

歯医者さんに相談しよう！

- ◆訪問診療の対象者はどのレベルまでが対応可能なのか知りたい
- ◆口腔ケアが必要な方の対応は誰がするのか。
- ◆医療の現場で、歯に関して相談された場合、どこに相談すればよいのか →ケアマネや訪問可能な歯科医への相談
- ◆認知症の方で、将来を見据えて口腔内の治療をしているが、家族が口腔ケアができていない場合、どうすればいいのか
- ◆依頼があれば訪問すると歯科医師の方も言ってくれている。しかし、道具がたくさん必要。事前情報が伝えられると良い。



HP「在宅医療福祉の森」でも研究会のホームページをご覧ください。黄色矢印をクリック





こんなこと思いました



第18回ことう地域チームケア研究会

歯科の先生から直接お話を聞くことが出来大変勉強になりました。口の中をチェックしてほしいことだけでも受診して良いと聞き心強く思いました。

アセスメント時にかかりつけ医は聞くがかかりつけ歯科医は聞いていなかったなので今後聞いていこうと思った(ケアマネ)

歯科医が訪問診療を行っているという事を知らなかったのが驚きました。利用者のかかりつけの歯医者を把握し問題が起こる前に介入して頂けるように促していこうと思いました。

抗精神病薬が口腔乾燥症を引き起こすことを知らなかったのが今日知ることが出来て良かったです。訪問する際には意識してみたいと思います。甲賀では歯科衛生士さんがHVCケアをされており、本人家族からありがたいという声が聞かれています(保健師)。

齲歯や歯周病がもたらす症状が写真で見て実感しました

直接歯科の先生方や歯科の事を聞くことが出来ありがたいことでした。直接疑問が解決できます(訪問看護師)

自分自身現在訪問診療について学び始めたところであり、いいタイミングで参加できたと思います。また参加させて頂ければと思います(歯科医師)

歯周病(全歯)の場合、褥瘡と同じくらいの感染面積となるということには驚いた。安全にという点でペースト状や食べやすいものを摂取される方が増えているがかえって「かむ」という力を奪っているという事が印象に残りました。

歯科治療はどちらかと言えば後回しになってしまいがちであるが、大切さを感じた。認知症予防の面でも大切であり広めていきたい。

訪問歯科診療にもっと歯科衛生士が同行できるように取り組んでいきたい(歯科衛生士)

実際の衛生士の口腔ケアや嚥下訓練なども知っていただきたい(歯科衛生士)

歯科の訪問診療を取り組まれているところが少ないことを知り、多職種の連携も大切だが日頃からかかりつけを作っておくことも必要だという事がわかった(介護士)。

歯科の大切さ、QOLの向上が理解できました。今後の在宅に活かしたいと思います(薬剤師)。

患者さんのことで相談したい内容があればデイケアに行っているかなどをきっかけにケアマネさんと相談することでネットワークが出来る可能性を知りました(歯科医師)

口腔ケアの指導を受けるためにどうすればいいのか。歯科衛生士さんに家族やデイや訪問看護など実際にケアを行っている人に指導してほしい。

回復期リハビリ病棟にいる為咬みあわせ、力が入りづらいと立ち上がりづらい、転びやすい、また入院日数の短縮につながるということで口腔ケア、歯と口の健康が大切と改めて思いました。病棟で再度皆に伝達したいと思います(看護師)。

高齢者だけでなく自分も家族も定期的な歯科受診を始めることが将来につながっていくことを強く思いました(訪問看護師)

情報提供

◆訪問歯科診療に関する問い合わせ先 (まずはかかりつけ歯科医院にご相談ください)

かかりつけ歯科医院がない場合は、

○彦根歯科医師会 (彦根市・犬上郡内の歯科医院会員)

滋賀県歯科医師会 ☎077-523-2787 にお電話してください。

○湖東歯科医師会 (愛荘町内の歯科医院会員)

在宅歯科医療連携室 ☎080-8501-4356 (月・水・金の 10:00~16:30)

◆湖東圏域の歯科の情報

『湖東地域歯科医療機関情報一覧 (第3版)』

- 居宅介護支援事業所に1冊ずつ配布されています。
- 「湖東健康福祉事務所ホームページ」でもご覧になれます。

当日のSNAP (2016. 1. 14)

